

植物

アサガオ(種子)、アマリリス(球根)、ポインセチア、クリスマスローズ、ユリ科植物、ツツジ科植物の一部をはじめとして、たくさんの種類があります。症状は個々の植物によって異なりますが、多くは嘔吐、下痢を起こします。

鉛

釣りの錘やおもちゃの一部として使われているのを誤って飲み込むと、胃の中で溶け出して酢酸鉛となり、腸で吸収されてしまいます。痙攣などの神経症状、嘔吐、下痢を起こします。

水

一度に多量に飲むと急激に血漿浸透圧が下がるので、赤血球の膜が耐えられず破裂してしまいます。貧血を起こし、赤色の尿が出ます。

ぶどうレーズン

近年、嘔吐、下痢、腎不全による死亡例が報告されました。現段階では原因物質、または毒素は特定されていませんが、念のため与えないほうが良いでしょう。

一例を挙げてみましたが、お家を見回してワンちゃんネコちゃんの届くところに危険なものがないかチェックしてみてください。



恐ろしい病気を知らう!

パート5

涼しくなってきましたね。ヒトも動物たちも冬に向けて食欲の増す季節です。しかし、私たちの周りには、好奇心旺盛なワンちゃんネコちゃんが誤って口にすると危険なものがたくさんあります。そこで、今回は、身近にあるものの中から中毒の原因となるものを紹介します。

中毒

ネギ類

アリルプロピルスルファイドという成分により赤血球が壊されるので、貧血、黄疸、赤色の尿になります。この成分は加熱しても壊れないため、ハンバーグ、すき焼きなどの料理でも有害です。

殺虫剤

有機リン系のは神経伝達物質を分解するコリンエステラーゼという酵素の働きをブロックしてしまうため、神経異常を起こします。痙攣、運動失調、呼吸不全、嘔吐、下痢などの症状が出ます。

チョコレート

テオブロミンという成分によりアドレナリンの放出が起きますので、興奮状態になります。嘔吐、下痢、血尿などの症状が出ます。体重1kgあたりの致死量はテオブロミン250~500mg。これは製菓用チョコレートに換算すると20~40gになります。

殺鼠剤

主成分がワルファリンのものは血液凝固に必要なビタミンKに取って代わってしまうため、実質、ビタミンKが動かない状態になり出血傾向になります。皮下や粘膜下の出血、貧血、呼吸不全などの症状が出ます。